

2025-26 年度地区目標と方策

1. 会員増強

- ・各クラブが行動計画を策定し、3 年間の目標数を設定し、マイロータリーに登録する。
- ・オープン例会などで会員候補者にロータリーを知ってもらい、受入れ体制を整える。
- ・個々の会員が 4 つのテストを胸に刻み、職業奉仕を行うことでロータリーのイメージを高める。
- ・退会防止に特別会員制度、特化型クラブを役立てる。

2. DEI の推進

- ・D(多様性)、E(公平さ)、I(包摂)について常に意識し行動する。DEI の対極がハラスメントである。I(包摂)は排除せず、排他的ではなく、寛容で受容的であること。

3. ポリオ根絶への協力

- ・あと一步に迫ったポリオ根絶への戦いを共に戦いましょう。
- ・一人 30 ドルのポリオ寄付を達成しましょう。
- ・ポリオデーに協賛し、10 月 19 日(土)秋田市内でキャンペーンパレードをします。県警音楽隊がパレードを先導する予定です。多くのロータリアンとその家族の参加をお願いいたします。

4. 青少年奉仕活動の推進

- ・昨年に続き、RYLA の開催を予定します。
- ・インターアクト年次大会を開催し、地区内インターアクトクラブ間の交流を促進し、活動の活性化を支援します。

5. RLI 参加者を増やします

- ・RLI は楽しくロータリーを学べる充実の場であることを、多くのロータリアンに知ってもらいます。
- ・RLI 卒業者は、ロータリーの基盤を強め、クラブ活動の有力な戦略として期待できます。
- ・各クラブで RLI 開催予定日を会員に周知し、参加を推奨してください。

6. ロータリー平和センターを支援しましょう

- ・平和の構築と紛争予防のための、世界で活躍する平和フェローを養成する、平和センターが日本では国際基督教大学(ICU)内に大学院(修士課程)として設置されています。
- ・現在、一人 30 円の支援金がガバナー会を経て納付されています。
- ・平和センターの活動を支援するため、各ロータリアン、各クラブでの自発的な寄付をお願いします。

7. 2232 地区(ウクライナ国)と日本国内地区とで締結されるICC(国際共同委員会)に参加します

- ・ICCはRI公認の活動団体であり、ICC事務局を通してグローバル補助金の申請がしやすい利点があり、医療機械の進呈が予定されています。